



地域学習資源の発掘・活性化をめざす取り組み

京都大学大学院教育学研究科、野殿童仙房生涯学習推進委員会

活動場所

京都府相楽郡南山城村野殿・童仙房地域

活動目的・背景

廃校になった小学校を活用して、地域と大学の交流・連携によって生まれる、学校教育とは異なる新しいかたちの教育（学習）空間の創造を活動目標に掲げている。また、住民の生涯学習と大学による生涯教育の実践活動との融合をめざしている。



取組概要

「野童いなか塾」という、大人も子どもも参加できる地域学習講座を定期的に関講している。今年度は 8 月に「童仙房ミュージアム」を開催して、地域資源を活用した器に山野草を活けたり、草笛体験をしたりした。また、2018年 2 月には、中山間地域の防災課題にアプローチする「減災懇話会」の開催を予定している。

成果・今後の課題

地域と大学とが協働して企画・運営する環境教育や減災学習のモデルケースを提示できていると考えている。参加者へのアンケート調査では「おもしろかった」「ためになった」などの回答が最も多いが、「もっと知りたい」や「またしてみたい」という回答も増加している。また、京都府外からの参加もあり、参加者のはばが広がっている。



本取組に関する
お問合せ先

京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター

TEL : 075-753-3075

E-Mail: collabo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

関連 Web サイト

[http:// collabo.educ.kyoto-u.ac.jp/](http://collabo.educ.kyoto-u.ac.jp/)